

# たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒 781-6410 高知県安芸郡田野町 1414-1

TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 隆

(題 字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com> E-Mail: [info@usui-kai.com](mailto:info@usui-kai.com)



「令和 6 年度 新人職員オリエンテーションにて」

### 別れと出会い

高知県がトップバッターとして、桜の開花宣言。現在、桜前線北上中です。今の季節は例年のことですが、別れと出会いの季節と言えます。皆さんも家庭であったり、職場であったり、身近なところで別れや出会いがありましたか。

子供さんとの別れは卒業、進学、転居と大変だけれど、楽しみなこと多いですね。私は先日、大学教授の定年による教授退任記念祝賀会が、城西館で開催され出席してきました。たくさんの方の参加者でした。教授は高知医大の出身で、いわゆる一期生。高知医大が新設医大として学生を受け入れた第一号です。国家試験の合格率が100パーセントだったことで大変話題になりました。その頃、わたしも大学に勤務しており、一期生を外科でも受け入れていました。その一期生が教授になり、定年を迎えたと言ふことは感慨深いものがあります。卒業から既に四十年を超える年月が過ぎたわけですから。大学の医局にも出会いと別れがあり、繰り返されたので

### 理事長 白井 隆

すが、現状を見るにつけ、今の研修医制度で今後もやっていくのか、これでもいいのかという思いを強くします。

医師の働き方改革が始まります。田野病院の場合は外部から当直に来てくれる場合に問題が生じるので、対応が必要になります。多少なりとも救急医療にマイナスの影響が出そうです。四月一日は田野病院の開院記念日です。昭和六十一年四月一日の開院でした。出会いと別れを繰り返して今があります。丸三十八年が過ぎ、多くの先輩の先生方とお別れをしてきました。安芸地区、中芸地区、芸東地区と三つの地区を分けて行ってきたいろんな医師会行事も合同ですることが増えました。どんどん人も変わり景色も変わり時代も変わっていきます。

国が指し示す、未来の高知県はどんな景色になるでしょう。みんなて手をつなぎ変えていかないと、期待できる未来にはならないかも。

## 常勤医師着任のお知らせ

この度、当法人におきまして、2024 年 2 月 8 日付けで武林克幸医師が常勤医師として着任しました。

回復期リハビリ病棟専従

たけばやし かつゆき  
武林 克幸 医師



### ①自己紹介(出身地、出身学校、趣味、好きな食べ物など)

高知市出身・兵庫医科大学卒業

趣味:特にありませんが歩いて言うなら散歩。運動がてら高知城周辺を歩いています。

好きな食べ物:甘い物

### ②座右の銘や心がけていること。

できるだけ相手の立場になって考えるようにしています。

### ③自分の性格を一言で表すと。

慎重

### ④意気込みなどあればお願いします。

少しでも役に立てるよう頑張ります。

気軽に声をかけて頂ければと思います。



令和 5 年度

## 地域医療研修

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた研修医の先生をご紹介します。

01 今回の研修で学び得たことを教えてください。

02 研修中、一番印象に残ったことがあれば教えてください。

03 指導医、職員の印象を教えてください。

04 今回の研修を経て、改めて、どのような医師をめざされますか？



篠原 苑子 研修医

(大阪医科薬科大学病院)

研修期間

令和 6 年 1 月 9 日～2 月 1 日

出身地：川島三豊市

出身大学：香川大学

趣味：テニス・読書・手芸

01 地域に、医師・医療が不足している実態を知りました。また医師の先生が一生懸命に働かれているところをみて、一生懸命に働く大切さを実感しました。コメディカルの方が強く、右も左も分かっていない私にいろいろと教授して下さり、何度も助けられました。

02 色々な先生の外来を見学したことです。外来中に 1 人の先生が胃の内視鏡をし、IVR をし、CV 挿入をし、そのまま外科のオペに入ると、少ない時間ながら様々なことをしていること。また外来に戻られたら、じっくり患者様のお話を聞いていることが印象的でした。

03 どの方も熱心で、毎日教えてもらうことばかりでした。また毎日忙しいにもかかわらず、夜遅くまで一生懸命に働かれている姿をみるだけでも、心動かされるものがありました。コメディカルの方々も、疲れてないか？高知は楽しいか？もう遅いから早く帰りなよ。と優しい言葉をかけて下さって、心温まる思いでいっぱいです。

04 一生懸命に働くことの大切さを学びました。ここに来るまで、目前のことばかり考えていましたが、何十年先になってもあの先生なら任せられると言っていただけのような経験豊かな医師になりたいです。

# てんかん外来の紹介

小児から成人、ご高齢の方まであらゆる年齢のてんかんのための診療をしています。当院では脳外科、循環器内科の医師も在籍しておりますので、てんかんと鑑別を要する疾患についても対応しています。てんかん外科の適応を検討する場合は高次の医療機関にお願いしていますが、ビデオ脳波検査に加えCT・MRI検査は当院で可能です。

高知県内で唯一のてんかん専門医・指導医である臼井大介医師が担当しています。

## 【担当医から一言】

大学卒業後、数年間は他県で診療をしておりました。その後、地元高知県に戻り、大学病院などで勉強をしながらてんかん診療に関わってきました。当時の高知県にはてんかん専門医がおらず、また専門医を取得するための研修施設もありませんでした。専門施設でしっかり学び、得た知識や経験を幼少から過ごした高知に還元したいと思い、静岡てんかん・神経医療センターで研修を受けました。常勤医師としての研修期間に加え、高知に戻ってから定期的に静岡に通い、てんかん専門医を取得しました。その後、指導医にも認定されました。

実際に当地で診療をしておりますと、てんかん発作で困ったままで何年も、時には何十年もという方にお会いします。発作が消失するかどうかで人生が大きく違うものになりますので、患者様が高知に住んでいるために十分な治療が行えない、情報が得られないということがないように診療を行って行きたいと思っております。



【担当医紹介】

院長

臼井 大介

鳥取県生まれ高知県育ち。2000年川崎医科大学卒業。

2010年から静岡てんかん・神経医療センターで研修を受ける。

2013年から田野病院。小児科専門医・指導医。小児神経専門医。

てんかん専門医・指導医

日本てんかん学会評議員

日本てんかん学会中国・四国地方会幹事

## ～てんかん外来～

	午前	午後
月		臼井大介（予約制）※1
火		
水		
木		臼井大介（予約制）※2
金		臼井大介（予約制）※3
土		

ご予約は代表番号 0887-38-7111

（月曜～金曜 14～17時まで）

※1 受付時間 12:00～15:30

診療時間 14:00～16:00

※2 受付時間 12:00～16:30

診療時間 14:00～17:00

※3 受付時間 12:00～16:30

診療時間 16:00～17:00

出張講演お礼  
馬路村  
2024.2.27



2023年9月に開催した子育てセミナー（就学前のお子さま対象）が好評であったことから、今回は小学生から中学生のお子さんを対象としたセミナーを開催しました。

今回も多くの方に聴講していただき、ありがとうございました。

小児科医と学ぶ  
子育てセミナー

講演テーマ  
「子どもの発達と生活リズム」

例えばこんなこと…  
●子どもの睡眠時間を確保したい  
●子どもが学校でのルールを子どもが守ってくれない  
●よい睡眠に向けた行動が知りたい  
みなさんと一緒に勉強しませんか？

日時 2,27(火) 18:30～20:00

講師 医療法人社団 田野病院 院長 臼井 大介 氏

会場 高知市 うまなび 高知村役場健康福祉センター 0887-44-2712 088-088



## 令和 6 年能登半島地震における DMAT 活動①

薬剤部 薬剤師

豊山 美琴



2024 年 1 月 1 日 16 時頃、石川県能登地方を震央とする地震が立て続けに発生しました。1 度目は M5.5 最大震度 5 強、その 4 分後には M7.6 最大震度 7 と阪神淡路大震災を超える規模でした。この地震により多くの家屋が倒壊し、1 万 4 千人の方が避難生活を余儀なくされました。新年を祝う団欒の時間帯に起こった出来事に、ニュースを見て心を痛めた方も多かったのではないのでしょうか。

私は 1/14～28 と 2/11～20 の 2 回、災害派遣医療チーム (DMAT) の中でも主に本部業務のサポートを行うロジスティックチームのメンバーとして石川県庁で活動させていただきました。

私の本職は薬剤師なので薬剤班に配属され、モバイルファーマシー (医薬品と調剤機器を搭載した車両) の活動状況管理、避難先で日頃の薬物治療が継続できるような体制確立、かかりつけ医と避難者をつなぐ「タブレット端末を用いたオンライン再診」の体制確立、避難所での避難者の内服管理方法の調整などさまざまな業務を地元医師会・薬剤師会の先生方と協力しながら行いました。

まだまだ断水が続いている地域もあるため、避難された方が地元に戻るには時間がかかる状況です。被災地の 1 日も早い復興を願っております。南海トラフ地震が発生した際には高知県も同じような状況になることも考えられるため、病院や地域に貢献できるよう今後も精進してまいります。

最後に、長期間にわたる派遣を支えてくださった病院や薬剤部の皆様に心より感謝申し上げます。



## 令和 6 年能登半島地震における DMAT 活動②

リハビリテーション部  
認定理学療法士

森下 誠也

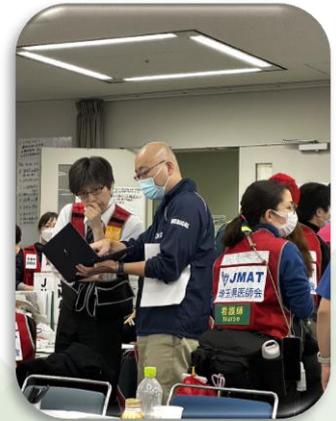


令和 6 年 1 月 1 日に起きました能登半島地震への災害支援に、1 月 17 日～22 日までと 2 月 14 日～21 日まで行かせていただきました。活動場所は石川県庁内に設置された石川県保健医療調整本部でした。

1 回目は能登半島からの避難が継続していた時期でした。医療機関への物的・人的支援が多く、DMAT 以外にも多くの医療支援チームが活動していました。また道路の復旧も十分ではなく、通常 2 時間で行けるところが 4 時間以上かかる状態でした。2 回目は医療支援チームが DMAT を含め日赤、JMAT(日本医師会)ぐらいで、福祉や看護師支援団体、保健支援チームなどが多い状態でした。道路は 1 回目よりは状況が良くなっているようでした。また、医療機関や福祉施設を元に戻していくために足りないことは何かを調査している段階でした。

活動内容についてですが、1 回目は活動指揮班で、派遣された DMAT 隊とその他の支援団体がどこで何チーム、何名活動しているかについて情報収集することでした。その他に DMAT 隊に支援に関する情報提供を行ったりもしました。2 回目は病院・物資支援班で支援を行っている病院の状況について情報収集を行う事をしました。その他に、DMAT が撤収を考える時期でもあったため、現在の情報収集システムのスリム化を考えることもしました。

現在リハビリテーション支援団体(JRAT)での支援活動も行われているため、今後タイミングがあれば3度目の支援活動として行きたいと考えています。



### たのたの 楽楽けんこう隊

#### 「歩行について」

令和 6 年 2 月 16 日 (金) 11:00～12:00

リハビリテーション部 理学療法士 笠松佐衣

歩行を行うことで「脂肪の燃焼効果による生活習慣病の予防」「認知症の予防」その他様々な効果が期待できます。1 日に【8000 歩(約 5Km)】歩く事で効果は得られ、その中に早歩きを取入れることで更に効果が得られます。

近所にあるお店を探してみたり、季節を感じられる道を選んでみたり新しい発見があるかもしれません。水分をしっかりと取り、一人で、夫婦で、近所の友人と歩くなど自分自身が続けられる方法で歩く事を楽しんで下さい。



#### 「脳卒中の予防・治療・リハビリ再発防止について」

令和 6 年 1 月 26 日 (金) 11:00～12:00

リハビリテーション部 認定理学療法士 久保貴義

#### 「足裏のひみつ」

令和 6 年 3 月 22 日 (金) 11:00～12:00

リハビリテーション部 理学療法士 岡崎修仁

# New

## リハビリ機器紹介

### ●ドライビングシュミレーター

ドライビングシュミレーター(以下DS)は、加齢よっての心身機能の低下や、病気による機能低下を生じた方々に対し、安全運転に向けて現在の状態の評価やそれに必要な訓練をサポートするための機器です。

加齢や病気により、手足の動きや精神面、視覚や聴覚の低下が起こってきます。またそれに伴い運転に必要な能力も低下すると言われています。

運転に必要な能力として、

- ①情報への反応(認知・判断力・操作)
  - ②危険予測能力
  - ③注意力・注意持続力
  - ④アクセル・ブレーキやハンドル等の運動機能
- の 4 つに大別されます。



当院では神経心理学検査と共にDS を実施することで、運転環境の模擬的な再現により、運転操作に必要な手足の複合動作を確認することが可能になり、現状の運転能力をより正確に評価する一助となります。

この評価結果を基に医師より運転に関しての診察、必要に応じて訓練や免許センターでの適性検査など紹介します。



### ●上肢リハビリ装置 肩関節訓練装置 GH-1200

#### 【装置の適応と目的】

使用対象者は脳卒中などの脳血管疾患、整形疾患などによる肩・肘に障害を持つ方が対象となります。電気・振動刺激を併用しながら、効率的な上肢(肩、肘)の機能改善を目的とした機能訓練機器です。天井から吊るしたワイヤーにて手首から腕にかけて専用の装具をつけて、訓練用のスイッチを押す反復動作の中で筋収縮を学習する仕様となっています。

#### 【訓練・効果】

訓練では前後、左右、斜めと反復した運動を行う事で関節・筋・感覚受容器への働きかけを行います。装置を使用することで肩・肘の関節運動を円滑にし、関節可動域の拡大を図ります。また、負荷訓練を行う事で肩・肘の筋力強化を行い、片手や両手作業時の作業効率改善を目指します。

肩・肘の機能改善を図る事で生活の中で服を着る、ご飯を食べる、洗濯物を干すなどの動作が円滑に行えるように生活動作の改善を目指します。



## 一人一人に寄り添える看護師を目指して

1年を振り返って

一昨年まで、看護師試験に向けてアルバイトをしながら勉強に励み、昨年春から看護師として田野病院で勤務し瞬間に1年が経ちました。

入職してからこれまで、様々な経験をさせてもらいましたが、失敗や知識不足もあり看護師としてまだまだ未熟だと痛感しています。そんな中でも、先輩看護師や多職種のスタッフからアドバイスをもらい、最近では患者さんとの関わりの中に看護師として出来ることの楽しさや、うれしさを発見出来はじめてきたと思います。

まだまだ覚えることは多く大変だと感じる毎日ですが、患者さんのために自分が出来ることを考え、わずかなことでも気付き心配りすることで、患者さんや家族さんから「ありがとう」の言葉をいただきます。この瞬間に、やりがいや看護の楽しさ、看護師になって良かったと感じます。

この1年の経験を活かし、良い看護とは何かと日々考え、患者さん一人一人に寄り添える看護を行っていきたいです。



西病棟 看護師

霊岳 風



### 春キャベツのピリ辛和え



✿材料(3人前) エネルギー75kcal  
たんぱく質 1.5g 塩分量 0.7g

・キャベツ	1/4 玉	} A
・にんじ	1/3 本	
・しめじ	1/4 房	
・すりゴマ	大きじ 2	
・ゴマ油	大きじ 1.5	
・しょうゆ	大きじ 1.5	
・味噌	小さじ 1	
・砂糖	小さじ 1	
・酢	小さじ 1	
・豆板醤	小さじ 1/2	

✿作り方

- ①キャベツと人参を千切りにし、しめじは軸を切り落とした後、耐熱ボウルに入れてラップをし、レンジ 600W で 3~4 分加熱する。
- ②①の水気を絞る。
- ③A を混ぜ合わせ、②と和えたら出来上がり。

✿ポイント

4 月の旬野菜である春キャベツを使ったレシピです。  
辛みとごまの風味がきいており常備菜としておすすめです◎  
火を使わず簡単な調理工程なのでぜひ作ってみてください。



# 医療法人白井会 **4年ぶりの** 忘年会→新年会

## ～みんなで大騒ぎ**パワー！！**～

挨拶・乾杯

理事長へのサプライズ



よさこい踊り(祭屋)



大抽選会

余興



一本締め





新年会に合わせ、2023年サービス向上委員による、部署・職員 MVP 表彰が行われました。

今回の部署 MVP は、職員の声広場（職員・患者様からの良かったエピソードを掲示板に報告）に上がった、特に誉められた3部署、また他部署をよく誉めた3部署のとなっています。

職員 MVP は、在宅・温泉・保育は関係者からの相互評価となり、診療部賞は常勤医師によるアンケート結果となっています。

**部署 MVP**

誉めたで賞

- 1位 地域医療連携室
- 2位 検査部
- 3位 放射線部

誉められたで賞

- 1位 放射線部
- 2位 総務課
- 3位 地域医療連携室



**特別賞（職員） MVP**

- |      |        |
|------|--------|
| 在宅賞  | 山本 裕子  |
| 温泉賞  | 牛窓 靖   |
| 保育賞  | 柿本 亜希子 |
| 診療部賞 | 宮田 千華  |
|      | 山中 志保  |
|      | 四国 大輔  |
|      | 清岡 和代  |
|      | 池本 恵子  |
|      | 有澤 正恵  |
|      | 今井 恵美  |

**～サークル活動紹介～**

法人には定期的に活動をしているサークルがあります。以前、新型コロナの影響もあり、職員同士のコミュニケーションの機会が少なくなっているというニュースを聞きました。サークル活動では、自部署他部署問わずフランクな交流をすることができるので、仕事をする上でも効果的です。運動不足解消やリフレッシュにもつながるので、もっともっとサークル仲間が増えると嬉しいです。

**ゴルフ部**



活動内容:年2回定期コンペ実施



**バスケット部**

活動日:毎週(火)  
活動場所:結いの丘ドーム



新 人 紹 介

所 属 職 種  
出 身 地  
趣 味  
特 技  
頑 張 っ

新人オリエンテーション

2024/4/1~4/3



接遇・コミュニケーション講座



医療安全について



院内感染セミナー

編 集 後 記

4月の暖かな風は、桜の開花の便りと共にたくさんの出会いも運んでくれます。

今年度の当院もたくさんの若い芽が、芽吹いてくれました。

これからどんな花を咲かせてくれるのか、今から楽しみです。

経営企画部総務課 坂田真人

